

# 10. 規制改革

経済政策  
(2013年度秋学期)

## キーワード

- 日本の規制改革の流れ
  - 80年代、90年代、2000年代の規制改革の特徴
- 的規制と  的規制
  - 経済的規制・・・ の是正
  - 社会的規制・・・ など
- 規制から  チェック・救済へ
- 規制改革の経済効果・・・ 分析
  - 余剰、 余剰
  - 死荷重 (Dead Weight Loss)

## 規制改革の流れ

1981~83	第2次臨時行政調査会
83~86	第1次臨時行政改革推進審議会
86	前川レポート (国際協調のための経済構造調整研究会報告書)
87~89	第2次臨時行政改革推進審議会
89~90	日米構造協議
93	平岩レポート(経済改革研究会報告書)
95	規制緩和推進計画(当初5年→3年)
98	規制緩和推進3ヵ年計画
2001	規制改革推進3ヵ年計画 総合規制改革会議
02	構造改革特区
04	規制改革・民間開放推進3ヵ年計画 規制改革・民間開放推進会議
07	規制改革推進のための3ヵ年計画 規制改革会議
10	行政刷新会議 規制・制度改革に関する分科会

3

## 規制改革の流れ

- 80年代の規制改革
  - 改革 の効率化  
「活力」
  - 国際協調(貿易摩擦対応)
- 90年代の規制改革
  - ← 不況+財政赤字、キャッチアップ終焉
  - 経済的規制の緩和
- 00年代の規制改革
  - 社会的規制の改革
  - 官製市場の改革・民間開放

4

## 規制改革の基本方針

- 競争的規制は原則自由に  
 社会的規制は必要最低限に
- 競争規制から  
 競争チェック・競争救済へ

5

## 規制改革の経済効果

分野		利用者メリット ※1	主要な措置事項等
電気通信	移動体通信	27,876億円	参入規制の緩和、料金及び約款規制の原則廃止 携帯電話売切り制導入
運 輸	国内航空	1,206億円	参入規制の緩和・需給調整規制の撤廃 運賃規制を事前届出制に緩和
	鉄道	4,840億円	参入規制の緩和・需給調整規制の撤廃 運賃規制を上限認可制に緩和
	タクシー ※2	125億円	初乗り短縮運賃制 ゾーン運賃制（02年からは自動認可制）
	トラック ※2	34,308億円	参入規制の緩和・需給調整規制の撤廃 運賃規制を事後届出制に緩和
	自動車登録検査制度 ※2	8,642億円	定期点検・車検整備等項目の簡素化
エネルギー	電力	56,630億円	小売自由化の開始及び拡大 料金規制の緩和（ヤードスティック査定を導入）
	都市ガス	4,579億円	小売自由化の開始及び拡大 料金規制の緩和（ヤードスティック査定を導入）
	石油製品	21,410億円	特石法・石油業法廃止（需給調整規制の撤廃） セルフ方式ガソリンスタンドの設置可能

（注）規制改革前と比較しての価格低下による利用者メリット〔2005年度〕（出所）規制改革会議「規制改革の取組と成果」

6

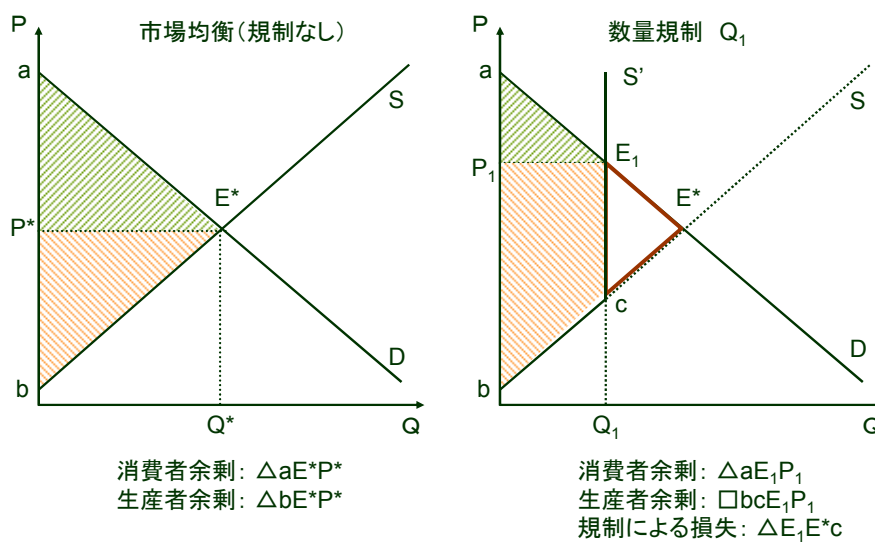
## 規制改革の経済効果②

金融	株式売買委託手数料	5,291億円	手数料率の自由化
	損害保険	3,155億円	保険料率の自由化、販売規制の緩和
飲食料品	米	6,249億円	需給実勢を反映した価格形成システムの構築 計画流通制度の廃止による流通の原則自由化
	酒類販売	7,957億円	需給調整要件の距離基準の撤廃 需給調整要件の人口基準の撤廃
再販指定商品	化粧品・医薬品	1,182億円	再販指定商品を指定する告示廃止
利用者メリット合計 (対国民所得比率) ※3		183,452億円 (5.0%)	
国民1人当たり利用者メリット ※4		14万4千円	

(注) 規制改革前と比較しての価格低下による利用者メリット[2005年度] (出所) 規制改革会議「規制改革の取組と成果」

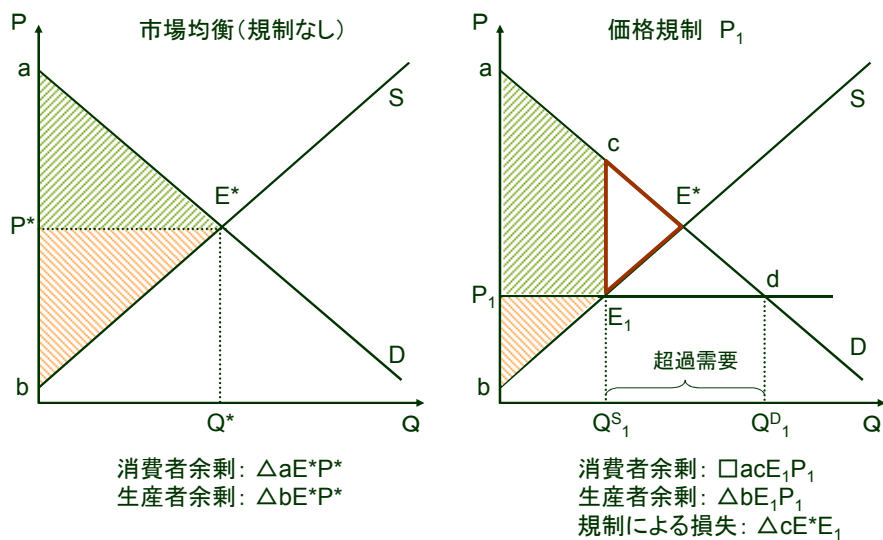
8

## 数量規制の効果

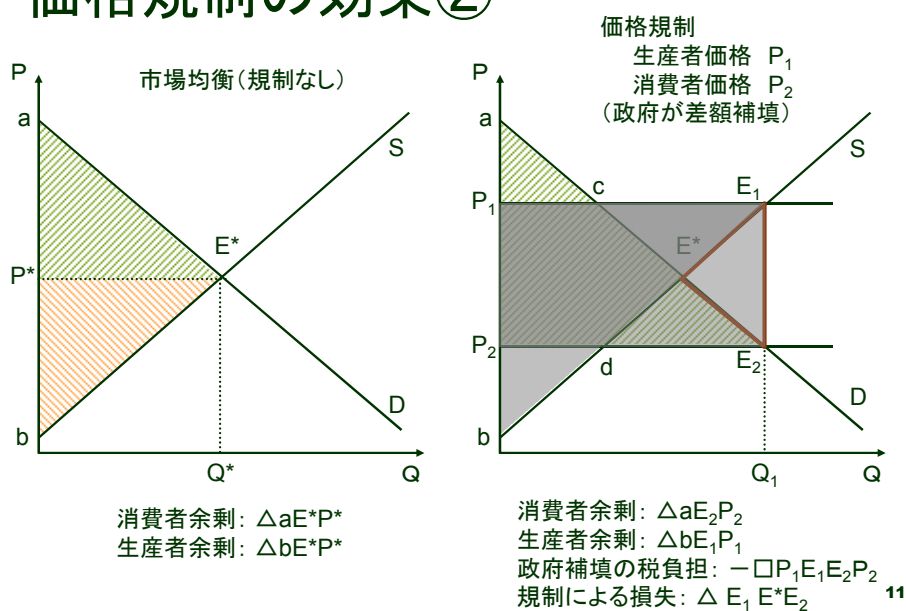


9

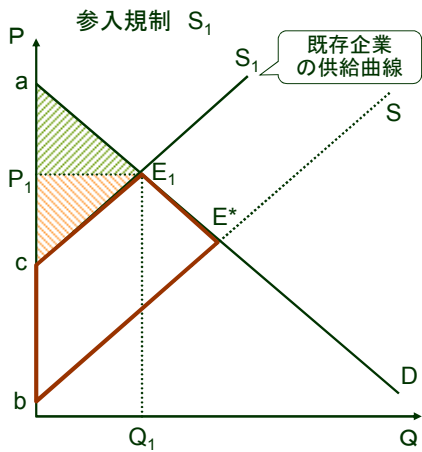
## 価格規制の効果①



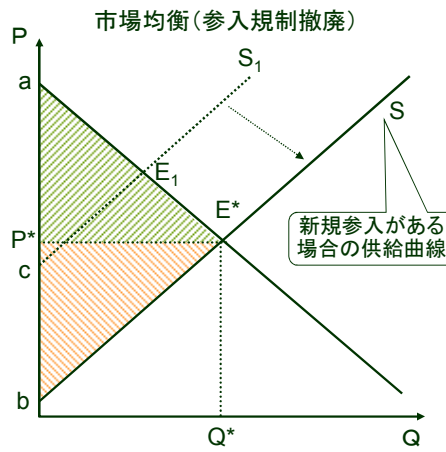
## 価格規制の効果②



# 参入規制の効果

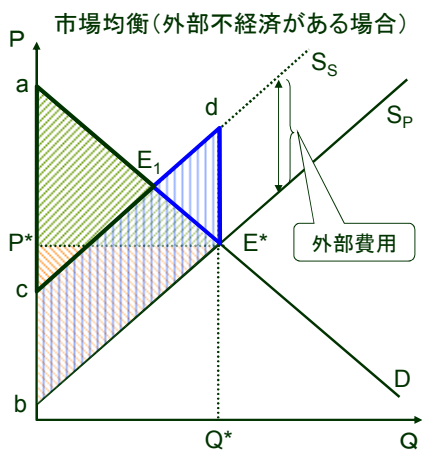


消費者余剰:  $\Delta aE_1P_1$   
 生産者余剰:  $\Delta cE_1P_1$   
 規制による損失:  $\square cbE^*E_1$

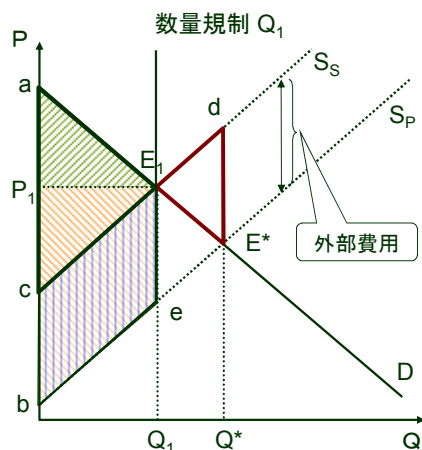


消費者余剰:  $\Delta aE^*P^*$   
 生産者余剰:  $\Delta bE^*P^*$   
 (規制撤廃の利益:  $\square cbE^*E_1$ ) 12

# 市場の失敗がある場合：外部性① 数量規制

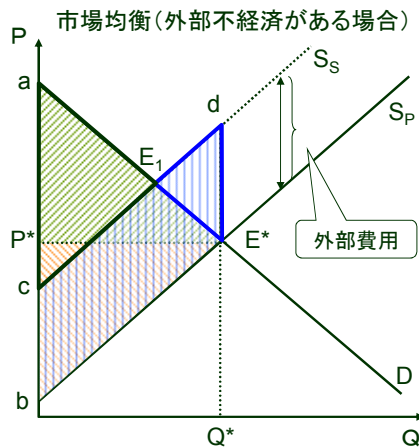


消費者余剰:  $\Delta aE^*P^*$   
 生産者余剰:  $\Delta bE^*P^*$   
 外部費用:  $-\square cbE^*d$   
 社会的余剰:  $\Delta aE_1c - \Delta dE^*E_1$

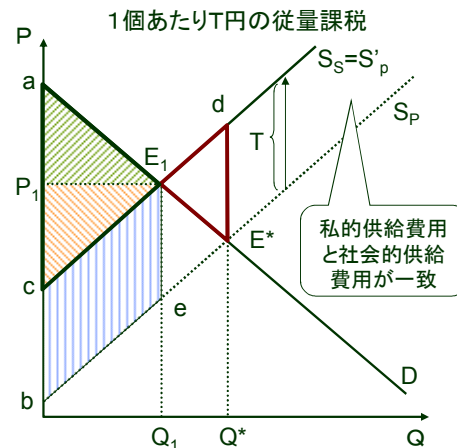


消費者余剰:  $\Delta aE_1P_1$   
 生産者余剰:  $\diamond beE_1P_1$   
 外部費用:  $-\square cbeE_1$   
 社会的余剰:  $\Delta aE_1c$   
 規制による利益:  $\Delta dE^*E_1$  13

## 市場の失敗がある場合：外部性② 従量税



消費者余剰:  $\Delta aE^*P^*$   
 生産者余剰:  $\Delta bE^*P^*$   
 外部費用:  $-\square cbE^*d$   
 社会的余剰:  $\Delta aE_1c - \Delta dE^*E_1$



消費者余剰:  $\Delta aE_1P_1$   
 生産者余剰:  $\Delta cE_1P_1$   
 外部費用:  $-\square cbeE_1$   
 政府税収:  $\square cbeE_1$   
 課税による利益:  $\Delta dE^*E_1$

社会的余剰:  $\Delta aE_1c$

14

## 規制改革・民営化の要因/背景

- の変化
  - 技術進歩、ニーズの変化等
- のコスト
  - 競争や経営自主権の欠如による非効率
- の失敗 vs  の失敗
- からの圧力・ 問題

(参考) 経済学の潮流変化

- ケインズ派 → 新古典派
- コンテストタビリティの理論

## 最近の規制改革の動き

- 的規制の改革から、 的規制の改革へ
  - 医療(混合診療、医薬品販売)、教育(株式会社参入)等
- 成長戦略(第3の矢)、国家戦略特区
  - 農業における  参入
  - 雇用規制(解雇法制、ホワイトカラー・エグゼンプション)
  - 診療、医薬品ネット販売
- 電力自由化
  - 発送電分離
  - 価格買い取り制

16

## 自主学习

- 「行き過ぎた規制改革が格差拡大を招いた」との主張をどう考えるか
- 民主党政権時代の規制再強化の動きをどう考えるか
  - 派遣労働規制の強化(日雇い派遣の禁止、製造業派遣の禁止)
  - タクシー数量規制の再強化
- 更なる規制改革が必要な分野はどこか
  - 混合診療、幼保一元化等の問題についてどう考えるか
  - 電力自由化、固定価格買い取り制導入をどう考えるか
- 安倍政権の規制改革(成長戦略、戦略特区)をどう評価するか
  - 雇用規制(解雇規制、ホワイトカラーエグゼンプション)、など

【参考書の主な関連箇所】

- ゼミナール経済政策入門：第2章-2、第3章

【読書案内】

- 八代尚宏(2013)「規制改革で何が変わるのか」ちくま新書

26